

# 自分と言う人間を振り返る機会デンマーク視察研修

松井加奈子

## ★固い決意で成田を出発

デンマークへの旅立ちの朝私はたくさんの方に感謝する気持ちでいっぱいでした。

このような機会を与えてくださった理事長、常務理事、園長、また人手不足の中、快く送り出してくれた職場のみんな、それに全面的に応援してくれた家族のみんな。

その気持ちは前泊のホテルで育成会より参加することになった仲間たちと話す中でどんどんと高まり、それは現在、保育園が抱えている問題や課題が改善に向かえるようなヒントをデンマークでつかんでくるんだ、と言う固い決意に形を変え成田を出発しました。

## ★なぜか涙が出てきて

自己紹介でそのことを話すと中能さんも夏代さんも「楽しんで、リラックスして。」とおっしゃいましたがそれでも私は明日から始まる研修、一語一句も逃すものか、と今、考えるときっと気合が入りすぎて殺気立っていたのではないのでしょうか。その気持ちが一瞬にして形を変えたのは翌日の高齢者福祉施設アスターズバイへ訪問でした。

デイサービスの昼食後、高齢者の方がティータイムをされている食堂に入った時、高齢者の方の笑顔、周囲でお世話をしている人の動きや表情、そのなんともいえない雰囲気には私はデンマークに行く前も夏代さんからのレクチャーでも何度も聞いていた言葉、「豊かな暮らし」「人間の尊厳」「人は財産」「生活」「年寄り芸術の賜物」「笑顔」そんな言葉の意味がストンと落ちた気がしました。

そして、なぜか涙が出てきて「こういうことか。」とつぶやいていたのです。



## ★国のシステムが違う中で

それからはどこの施設に訪問させていただいても大きな国のコンセプトは変わりません。大きな大きな国と言うものに守られている安心感はデンマークの人々に共通して備わっている感じがしました。

では、国のシステムが違う私たち日本人は今の仕組みの中でどのように生きていけばいいのか。これから人生を歩いていく子どもたちに何を伝えていくべきか。そしてレクチャーの中で夏代さんがおっしゃっていた「私たちに今できること」。はもちろん自分に足りないこと、自分が意識して出来ることを考えました。





### ★自分の仕事に誇りを持って

自分に足りないもの、それは「見極める力」と「笑顔」ではないのか、と考えました。一つの場面でいろいろな人からいろいろな話を聞き、その人の想いや気持ちに寄り添いたいと思うあまり実際、何を大切にすればいいのか迷ってばかりいるのではないのか、たくさんの方に追われて笑顔を忘れてしまうことがあったのではないかと反省するとともに、自分と言う人間を振り返る機会となりました。そして人育てにかかわる仕事につかせて頂いていることに誇りと自信、また学ぶ気

気持ちを忘れずに取り組んでいきたいと改めて考える機会となったデンマーク視察研修でした。

### ★恨みっこなしで話しあえるように

デンマーク視察研修ではもう一つ大きな収穫がありました。それは、福祉に対して志高いたくさんの人に出会い、いろいろなお話を聞かせて頂いたり自分の想いを言葉にして伝える機会を頂いたり、また同じ思いだった人、そうではなかった人とも意見交換を通して相手を知るという機会になりました。

そして、そのあとも冗談を言い合えたり一緒にワインを飲んだり、それは私たち保育園に足りない「恨みっこなしで話し合う」と言うことの実体験ではなかったのではないかと、言うことです。私の人生の中でもこれは大きな学びにつながりました。

今回の研修で出会えたたくさんの方々に心から感謝をこめて、私は人として笑って楽しんで生きていきたいと思えます。ありがとうございました。

